

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

再生可能エネルギー普及に資する材料の生産工場が起工 令和2年10月稼働予定

12月13日、(旧)浪江日立化成工業株式会社(川添地区)において、LEシステム株式会社が、敷地内にある工場の改修工事に係る起工式を開催しました。

同社工場では、再生可能エネルギーの普及に向けて必要性が高まっている蓄電池の一つ「レドックスフロー電池」で使用する「バナジウム電解液」の生産を計画しており、その先進性から、海外からも注目を集めています。

初めて自社生産工場を構える同社は「地域に貢献できる企業を目指したい」としており、地元雇用にも積極的であり、地域経済の活性化への後押しが期待されます。

《企業概要》

企業名：LEシステム株式会社
代表者：代表取締役 佐藤 純一
本社：福岡県久留米市東合川2-3-39
事業内容：レドックスフロー電池用バナジウム電解液製造



地域経済の活性化を期待して



参加者を代表して挨拶

問 産業振興課産業創出係 Tel. 0240(34)0248

ここから下は広告です。

町の農林水産業 再生に向けて

問 農林水産課農政係 Tel. 0240(34)0245
問 農林水産課農林水産係 Tel. 0240(34)0246

花木の出荷が 始まりました

浪江町花卉研究会の花木部に所属している安倍政信さんが、北棚塩で栽培している花木の出荷を始めました。元々稲作農家だった安倍さんは、農業機械や苗木の購入費用を補助する「原子力被災

12市町村農業者支援事業」の交付申請中ですが、事業承認を受ける前に、自費でユーカリの苗を購入・定植・栽培し、初出荷を迎えました。出荷した「ブリンシアナ」「銀世界」という品種は、ここ数年、市場で人気が高まっている花木で、現在、大田市場(東京都大田区)で取り引きされています。



一つ一つ丁寧に荷造り



浪江から全国に向けて

農業委員会だより 農地利用最適化推進委員を募集

農地の現場活動を担当する農地利用最適化推進委員に欠員が生じたので、次のとおり募集します。

募集人員(担当地区)	1人(津島地区)
主な業務	●農地利用の最適化のために現場活動を行う ●農業委員会総会に出席し意見を述べる
応募資格	●浪江町に住民登録がある人 ●農地などの利用の最適化に熱意と識見を有する人
報酬	204,000円(年額)
任期	4月1日(水)～令和3年7月7日(水)
募集期間	2月3日(月)～3月2日(月) (※郵送の場合は必着)
申込方法	申込書に必要事項を記入の上、直接または郵送で農業委員会事務局(〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7-2 浪江町役場農林水産課内)に提出してください。なお、申込書・募集要項は、農業委員会事務局窓口および各出張所窓口にて備え付けています。また、町ホームページからもダウンロードできます。
留意点(身分)	非常勤の特別職の職員

農地法の許可が必要な各種申請書の3月の申込締切日は2日(月)です。

問 農業委員会事務局(農林水産課内) Tel. 0240(23)5706

ここから下は広告です。